

川上未映子さん迎えてトークセッション

専修大学活字文化公開講座に600人



▲ トークセッションで川上未映子さん(中央)と川上隆志教授(右)、米村みゆき准教授(左)

独特のリズムを刻む文などの技術よりも、視点が章表現で異彩を放つ芥川「本を読むことで賞作家・川上未映子さん コミュニケーションが得る」を歓迎、専修大学活字文化「言葉で表す公開講座が10月2日、ことや本を読むことが生田キャンパスで開催された。さんな「素敵」につながるかを、会場を埋めた600人の聴衆に語りかけ

膨らむ、本の素敵」をテた。

川上さんが「どんどん 0人の聴衆に語りかけ」に基調講演を行った 同公開講座は読売新聞後、文学部の川上隆志教授(担当・出版文化論)、字文化プロジェクトの一環。各大学との共催で随米村みゆき准教授(同・ ビジュアル文化論)とト 時、開催されている。トークセッション。 ※3面に記事

川上さんは「表現をす ※講座の模様は10月30日」ことで、人の悲しみを 付の読売新聞朝刊「東京本半減させたい」「文体な 社発行地区」でも掲載予定